

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 28 年 5 月 19 日現在

機関番号：34504

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2012～2015

課題番号：24530588

研究課題名(和文) 国際会計基準(IFRS)導入に関するわが国の国家会計戦略及び制度設計に関する研究

研究課題名(英文) Research on National Accounting Strategy and Institutional Design with adopting IFRS

研究代表者

平松 一夫 (HIRAMATSU, Kazuo)

関西学院大学・商学部・教授

研究者番号：40098364

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：日本が否応なしに会計領域の国際会計基準(IFRS)を中心とした国際標準化への対応を迫られている中で、会計分野の国際標準化は、日本が主導権をとらなかつた(とれなかつた)例となってしまったことを示し、日本は会計の国際標準化に正面から、しかも日本的に向き合わなければならないこと、そこにこそわが国の会計の将来を開く道があることを指摘した。

日本が会計分野のさまざまな国際標準化に適切に対応することが避けて通れないこととなっている中で、国際標準化をとりいれるべき企業とそうしなくてもいい企業を峻別して対応することが日本の進むべき方向であること、また、国際会計人材の育成も重要な課題であることを指摘した。

研究成果の概要(英文)：Japan is required to make a rapid response to IFRS-centered international standardization in the area of accounting. However, Japan did not (or could not) take initiatives to the standardization. Now Japan must face up to the accounting international standardization with its own perspective (with national accounting strategy, and with national accounting system to match our business custom, culture and regulations), and this is the way to open the future of Japanese accounting. Now that Japan cannot avoid to properly respond to various aspects of international standardization in accounting areas, it was indicated that Japanese way to respond to the issue is to make a distinction between the firms which should accept the international standardization and the firms which do not have to accept it. It was also indicated that fostering global accountants is an important issue.

研究分野：国際会計

キーワード：IFRS(国際会計基準) 国家会計戦略 会計制度設計

## 1. 研究開始当初の背景

国際会計基準(IFRS)は既に世界120カ国以上で採用されている。連結対象の海外子会社を自国の会計基準に換えることは複雑でコストがかかる上、企業の資金調達コストを最小にして投資家の理解可能性を高めるには、高品質で単一のグローバルな会計基準であるIFRSを上場企業の連結財務諸表に採用することが望ましい。しかし、わが国の会計戦略が不在であるために、日本としての方向性が定まらず、国益を損なう事態となっている。また、日本がアメリカの状況を見ながらIFRSの導入に逡巡するならば、日本は国際的な信頼を失うと危惧される。今なすべきことは、日本基準はIFRSとは異なるということを含め、上記の認識をもちつつ、差し迫った問題にどう対応するかを決断することである。日本での導入延期に伴い、会計戦略を掲げるアジア諸国との関係で日本にどのような影響があるのか、日本は何をしなければならぬかを国際的な動向を見据えて検討し、わが国の会計戦略について早急に検討すべき時期にきている。

同時に、国際会計基準(IFRS)導入に向けて現実的な提案をするためには、実践可能な「処方箋」を示す必要がある。例えば、IFRSの適用は「上場会社」の連結財務諸表とする方向性が示されたことに伴い、IFRSが適用されない企業の財務諸表にどのような会計基準を適用すべきかについての方向性を明確にする必要がある。その一つは「非上場会社」の財務諸表であり、いま一つは「単体財務諸表」である。日本には250万社を超える会社があり、そのうち上場企業は約3,700社にすぎず、今後もしアドプションが決定されるとした場合に、単体財務諸表にIFRSではなくコンバージェンス後の日本基準を適用するとすれば、会社法・税法との関係はどうかになるのが明確ではない。また、非上場会社は、資金調達などの事業活動の態様や財務諸表に対する関係者のニーズが上場会社とは異なっており、上場会社と同様にIFRSを適用することは必ずしも望ましいとはいえない。世界では「中小企業のための国際会計基準(IFRS for SMEs)」を採用または許容する国が増えており、この問題に対して日本としてどう対応するかを、手遅れになる前に検討しておく必要がある。

これまでの関連する先行研究は、国際会計基準の「統合」や「収斂」を前提にしたものであった。しかし、IFRSをめぐる世界の動向に鑑み、また、国際資本市場の中で日本企業が不利益を被らないためにも、わが国が「収斂」から「採用」へと大きく対応を変えようとしている時に、これらの問題にいち早く取組み、国際会計基準の「採用」がわが国会計制度にどのような影響を及ぼし、わが国が対処すべき課題は何かを理論的に明らかにしておく必要がある。

## 2. 研究の目的

国際会計基準(IFRS)の導入は、単に会計基準の導入ではない。本研究「国際会計基準(IFRS)の導入がわが国会計制度に与える影響に関する研究」は、(1)IFRSへの対応を含むわが国の会計戦略のあり方に関する研究、(2)IFRS導入に伴う国内制度への影響(会社法・税法との関連)に関する研究、(3)単体財務諸表及び非上場会社の会計制度に関する研究、の3つの内容から成る。

世界120を超える国で導入されているIFRSについて、主要国における対応状況や実態を調査・分析し、それらをふまえてわが国が対処すべき課題を浮き彫りにし、わが国の会計戦略及び制度設計に対する提言を行うことを目的とする。

## 3. 研究の方法

本研究では、研究内容を次の3つに区分し、研究を遂行した。

(1)国際会計基準(IFRS)への対応を含むわが国の会計戦略のあり方に関する研究

国際会計基準(IFRS)導入が日本で延期されたことに伴い、諸外国の会計戦略との関連で日本にどのような影響があるか、日本は何をしなければならぬか等についての具体的な提案を行った。

(2)IFRS導入に伴う国内制度への影響(会社法・税法との関連)に関する研究

IFRSが上場企業の連結財務諸表に導入されるにあたり、単体財務諸表において、特に会社法・税法との関連で生じる課題と対処について諸外国の経験を基に研究した。

(3)非上場会社の会計制度に関する研究

上場企業とは情報ニーズが異なる非上場企業の会計制度について、IFRS for SMEsや諸外国における対応状況について研究した。

## 4. 研究成果

### (1) 概要

日本が否応なしに会計領域の国際会計基準(IFRS)を中心とした国際標準化への対応を迫られている中で、会計分野の国際標準化は、日本が主導権をとらなかった(あるいはとれなかった)例となってしまったことを明らかにした。わが国がこれまでIFRSについて主導権をとれず、いかに受け身の対応しかしてこなかったかを示した上で、日本は会計の国際標準化に正面から、しかも日本的に向き合えないと生きていけないこと、そして、そこにこそわが国の会計の将来を開く道があることを指摘した(次節に記載の雑誌論文・学会報告・図書等を参照)。

日本あるいは日本企業が会計分野のさまざまな国際標準化に適切に対応することは、今や避けて通れないこととなっている中で、

国際標準化をとりいれるべき企業とそうしなくてもいい企業を峻別して対応することが、日本の進むべき方向である。また、国際会計人材の育成も重要な課題である。これらに関する研究成果についても、次節に記載の雑誌論文・学会報告・図書等を通じて発表することができた。

(2) 国際会計基準(IFRS)への対応を含むわが国の国家会計戦略のあり方、および、国際会計基準(IFRS)導入に伴う国内制度への影響に関する研究に関連して、世界的に著名な次の会計研究者を研究期間に招聘することができた。

- ・Sidney Gray 教授(オーストラリア、シドニー大学) 2012年12月および2015年6月。
- ・Inmang Song 教授(韓国、成均館大学) 2012年12月。
- ・Belverd E. Needles, Jr.教授(アメリカ、デ・ポール大学) 2013年4月。
- ・Marian Powers 教授(ノースウェスタン大学) 2013年4月。
- ・Chan-Jane Lin 教授(台湾、国立台湾大学) 2013年5月。
- ・Jimmy Y.T. Tsay 教授(台湾、国立台湾大学) 2014年5月。
- ・Fernando Dal-Ri Murcia 博士(ブラジル、サンパウロ大学) 2015年12月。
- ・Singgih Wijayana 博士(インドネシア、ガジャマダ大学) 2015年12月。

この他にも、IAAER(International Association for Accounting Education & Research)の会長として、アメリカ会計学会(AAA: American Accounting Association)をはじめ、韓国会計学会(KAA: Korean Accounting Association)や台湾会計学会(TAA: Taiwan Accounting Association)等の各国会計学会の会長等や、研究協力者である海外の著名会計研究者にインタビューを実施し、本研究課題について研究機関にわたって討議を行ってきた。

これを通して、各国がIFRS導入を通して学んだ経験(国家会計戦略の詳細と進捗状況、上場企業の連結財務諸表にIFRSを導入するにあたっての準備に関する状況、IFRS導入に伴う国内法・規制の見直し状況とプロセス等)および課題に関する情報を得、また、討議を通じて、論文等で公表した研究成果に至る結論を得ることができた。

また、本研究の成果は、2016年8月にアメリカ・ニューヨークで開催されるアメリカ会計学会第100回記念大会におけるPresidential Scholars Speech(招待講演)においても発表する予定である。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計32件)

平松一夫「見果てぬ夢」『兵庫経協』、査読なし、第361号(平成27年新年号)2016年1月、15頁。

平松一夫「会計領域における国際標準化」『兵庫経協』、査読なし、第360号(平成27年秋号)2015年10月、18頁。

平松一夫「不正会計問題に思う」『兵庫経協』、査読なし、第359号(平成27年夏号)2015年7月、14頁。

平松一夫「コーポレートガバナンスと社外取締役」『兵庫経協』、査読なし、第358号(平成27年春号)2015年4月、18頁。

平松一夫「世界会計学会(IAAER)フィレンツェ会議を終えて」『企業会計』、査読なし、第67巻第2号、2015年2月、14-20頁。

平松一夫「世界会計学会の会長を終えて」『兵庫経協』、査読なし、第357号(平成27年新年号)2015年1月、18頁。

平松一夫「日本の会計について思う【第12回】」『世界会計学会(IAAER)の存在意義』Profession Journal(Web情報誌) 査読なし、No. 98、2014年12月。

平松一夫「日本の会計について思う【第11回】」『のれんの会計処理をめぐる経緯』Profession Journal(Web情報誌) 査読なし、No. 94、2014年11月。

平松一夫「日本の会計について思う【第10回】」『修正国際基準(公開草案)の意義と3つの疑問』Profession Journal(Web情報誌) 査読なし、No. 89、2014年10月。

平松一夫「修正国際基準(案)の公表」『兵庫経協』、査読なし、第356号(平成26年秋号)2014年10月、20頁。

平松一夫「日本の会計について思う【第9回】」『IES(国際会計教育基準)が日本に求めること』Profession Journal(Web情報誌) 査読なし、No. 85、2014年9月。

平松一夫「グローバル会計人材の育成～世界における日本の役割」『季刊会計基準』、査読なし、第46号、2014年9月、2-6頁。

平松一夫「日本の会計について思う【第8回】」『"2つの"中小企業会計基準が抱えるジレンマ』Profession Journal(Web情報誌) 査読なし、No. 82、2014年8月。

平松一夫「IFRSによる日本再生」『兵庫経協』、査読なし、第355号(平成26年夏号)2014年7月。

Hiramatsu, K. "Accounting Standards for SMEs in Japan" The Messenger of Professional Accountants (The official magazine of the National Institute of Professional Accountants (NIPA), Russia)、査読なし、Issue 4-6、2014年6月、4-6頁。

平松一夫「日本の会計について思う【第7回】」『日本再生ビジョンとIFRS』Profession Journal(Web情報誌) 査読なし、No. 68、2014年5月。

平松一夫「日本の会計について思う【第6

- 回】「英語による会計学文献を出版する意義」Profession Journal (Web 情報誌) 査読なし、No. 73、2014 年 6 月。
- 平松一夫「日本の会計について思う【第 5 回】「待機合格者問題が解消された今こそ取り組むべき課題」Profession Journal (Web 情報誌) 査読なし、No. 68、2014 年 5 月。
- 平松一夫「日本の会計について思う【第 4 回】「統合報告書 - 企業報告の新動向 - 」Profession Journal (Web 情報誌) 査読なし、No. 64、2014 年 4 月。
- 平松一夫「統合報告書の登場」『兵庫経協』、査読なし、第 354 号(平成 26 年春号)2014 年 4 月、16 頁。
- ⑲平松一夫「日本の会計について思う【第 3 回】世界、アメリカ、日本の会計学会」Profession Journal (Web 情報誌) 査読なし、No. 62、2014 年 3 月。
- ⑳平松一夫「日本の会計について思う【第 2 回】日本にも国家会計戦略を」Profession Journal (Web 情報誌) 査読なし、No. 56、2014 年 2 月。
- ㉑平松一夫「日本の会計について思う【第 1 回】IFRS 任意適用拡大への期待」Profession Journal (Web 情報誌) 査読なし、No. 52、2014 年 1 月。
- ㉒平松一夫「IFRS 適用で国益を守る方法」『兵庫経協』、査読なし、第 353 号(平成 26 年新年号)2014 年 1 月、23 頁。
- ㉓平松一夫「IFRS アドプシヨンの先送りに見る日本の会計戦略」『青山経営論集』(東海幹夫教授退任記念号) 査読なし、第 48 巻第 2 号、2013 年 9 月、49-61 頁。
- ㉔ 7Saito, M., Mayangsari, S., and Hiramatsu, K. "Students' Motivation to Study Accounting Subjects: Difference between Japan and Indonesia" Journal of Modern Accounting and Auditing, 査読有, Vol.9, No.8, 2013 年 8 月, 1018-1031 頁。
- ㉕平松一夫「日本の会計人に対する世界会計学会の示唆」『会計・監査ジャーナル』、査読なし、第 696 号、2013 年 7 月、2-3 頁。
- ㉖平松一夫「国益を守るための IFRS 適用の拡大」『兵庫経協』、査読なし、第 351 号(平成 25 年夏号)2013 年 7 月、12 頁。
- ㉗平松一夫「グローバル会計人材の育成を」(会計リレーエッセイ・第 6 回)『Profession Journal』(Web 情報誌) 査読なし、No. 23、2013 年 6 月。
- ㉘平松一夫「公正価値会計への警鐘」『兵庫経協』、査読なし、第 349 号(平成 25 年新年号)2013 年 1 月、20 頁。
- ㉙平松一夫「グローバル化が進む韓国会計学会」『兵庫経協』、査読なし、第 347 号(平成 24 年夏号)2012 年 7 月、12 頁。
- ㉚平松一夫「会計のもう一つの国際化：国際教育基準」『兵庫経協』、査読なし、第 346 号(平成 24 年春号)2012 年 4 月、16 頁。

[学会発表](計 15 件)

Hiramatsu, K. "Presentation in Profit or Loss and OCI: from a Japanese point of view" (招待講演) American Accounting Association, annual meeting (Chicago, USA) 2015 年 8 月 11 日。

平松一夫「国際標準化と会計及び会計学の将来」(招待講演)国際会計研究学会、第 6 回西日本部会、熊本学園大学(熊本県、熊本市)2015 年 8 月 1 日。

Hiramatsu, K. "The Implications of International Education Standards (IES)" (招待講演) IFAC and IAAER, Roundtable on "The Role of Professional Accountancy Organizations in Economic Development" (East London, South Africa) 2015 年 7 月 1 日。

平松一夫「経済社会の変化に対応した経営学大学院のあり方：関西学院大学の経営学大学院」(招待講演)日本学術会議・学術フォーラム、日本学術会議(東京都、港区)2015 年 3 月 13 日。

平松一夫「国際会計基準(IFRS)をめぐるわが国の対応」(フェロー就任記念講演)(招待講演)国際ビジネス研究学会第 21 回全国大会、北海学園大学(北海道、札幌市)2014 年 11 月 3 日。

Hiramatsu, K. "Accounting Standards for SMEs in Japan" (招待講演) NIPA-IAAER, VIIIth International Scientifically - Practical Conference (Samara, Russia) 2014 年 7 月 3 日。

Hiramatsu, K. "The Raison D'etre of IAAER : Diversity and Collaboration" President' address, 2014 20th Annual Midyear Meeting and 10th Doctoral/New Faculty Consortium of the International Accounting Section of AAA jointly with IAAER (San Antonio, Texas, USA) 2014 年 2 月 22 日。

Hiramatsu, K. "International Education Standards: CPD Guideline for Professional Auditors" (招待講演) KibR (Krajowa Izba Bieglych Rewidentow, National Chamber of Statutory Auditors), The 14th Annual Conference (Jachranka, Poland) 2013 年 10 月 16 日。

平松一夫「職業会計士のための国際教育基準(IES)全面改定による我が国の公認会計士教育の変革～IAESB 議長を交え IES 改訂版の日本に与える影響を考える～」(共同報告)日本公認会計士協会第 34 回研究大会、神戸ポートピアホテル(兵庫県、神戸市)2013 年 9 月 5 日。

Hiramatsu, K. "IFRS Incorporation in Japan: How to Expand the Voluntary Application" (招待講演) IAAER & Bucharest University of Economic Studies, The 8th International

Conference on Accounting and Management Information Systems (Bucharest, Romania) 2013年6月12日。  
平松一夫「経営学に何を期待するか！～会計学からの期待～」(招待講演) 経営関連学会協議会第5回シンポジウム、明治大学(東京都、千代田区)2013年3月10日。  
Hiramatsu, K. "Students' Motivation to Study Accounting Subjects: Difference between Japan and Indonesia" Asian Academic Accounting Association, The 13th Annual Conference (Kyoto University) 2012年11月10日。  
平松一夫「会計制度のグローバル化」(招待講演)建設産業経理研究所15周年記念シンポジウム、東海大学校友会館(東京戸、千代田区)2012年11月7日。  
平松一夫「職業会計人育成のための会計教育のあるべき姿について考える～社会から求められる公認会計士となるために～」(共同報告)日本公認会計士協会第33回研究大会、ホテル日航熊本(熊本県、熊本市)2012年7月19日。  
Hiramatsu, K. "Impossible Dream (?) of Accounting Schools in Japan" (招待講演) Korean Accounting Association, 2012 Annual Summer/International Conference, (Yangyang, Korea) 2012年6月20日。

[図書](計5件)

齋藤雅子、セカール マヤングサリ、平松一夫著『インドネシアの会計教育』中央経済社、2015年11月、全220頁。

平松一夫監修、齋藤真哉・阪智香編『IFRS国際会計基準の基礎(第4版)』中央経済社、2015年3月、全323頁。

平松一夫・辻山栄子責任編集『体系現代会計学 第4巻/会計基準化のコンバージョン』中央経済社、2014年5月、全363頁。

平松一夫監修、齋藤真哉・阪智香編『IFRS国際会計基準の基礎(第3版)』中央経済社、2013年10月、全336頁。

平松一夫監修、齋藤真哉・阪智香編『IFRS国際会計基準の基礎(第2版)』中央経済社、2012年4月、全328頁。

## 6. 研究組織

### 研究代表者

平松 一夫 (HIRAMATSU, Kazuo)

関西学院大学・商学部・教授

研究者番号：40098364